

Okayama

WLB

Work Life Balance

ワークライフバランスは、
経営戦略の要^{かなめ}です。

	SEP	OCT	NOV	DEC	SUM	AVE
20XX	7,580	45,786	45,021	14,586	460,150	38,346
	547	25,647	25,471	34,751	269,564	22,464
	8	14,752	32,569	36,541	156,933	13,078
	14,752	12,659	26,541	69,521	229,746	19,146
	6,541	14,752	78,410	11,002	283,591	23,633
	1,452	2,569	2,654	5,478	200,303	16,692
	11,447	147	23,369	65,391	377,029	31,419
	65,249	52,147	50,350	21,456	294,448	24,537
	14,758	14,560	14,759	15,785	405,739	33,789
	54	14,758	14,560	14,759	32,569	226,746
	89	65,892	65,891	6,521	5,678	44,769
	547	26,544	47,581	1,587	5,678	223,904
	782	26,547	11,485	3,25	12,365	446
	6,652	1,658	6,524	10,045	62,358	446
	4,756	45,712	10,475	62,584	129	6,587
	7,842	26,540	65,840	236	2,568	20,568
	623	662	546	2,174	2,568	369,904
	1,579	4,570	2,168	1,365	1,456	239,511
	4,785	3,354	1,368	56,330	52,894	335,272
	14,587	14,789	56,478	12,789	15,684	28,534
	69,850	25,698	12,457	62,514	63,542	248,129
	11,224	66,142	1,023	1,598	32,568	88,990
	1,475	26,540	2,620	2,620	6,954	23,325
						38,346

企業 Interview

株式会社 イケル / 株式会社 岡山高島屋



岡山市
OKAYAMA CITY



ワーク・ライフ・バランスは

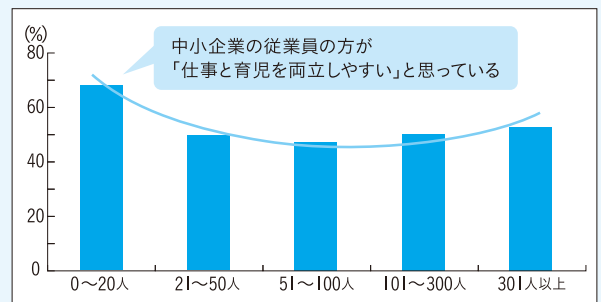
企業が取り組むべき経営戦略

ワーク・ライフ・バランス(WLB)の実現に向けた職場環境づくりは企業価値(人材・生産性・企業イメージなど)の向上にとって、重要な「明日への投資」と位置付けられています。近年では、岡山市内でも経営者自ら「イクボス宣言」を行う企業が増えてきていることなどから「経営戦略としてのWLB」を重要視する傾向にあるといえます。

WLBの実現には、大企業と中小企業それぞれにモデルがあります。WLBなんて、余裕のある大企業だからこそできるものだと考えていませんか？ たしかに、中小企業における両立支援に関する取り組みは、大企業と比べて進んでいませんが、企業規模が小さい企業の従業員の方が大企業よりも「両立しやすい」と意識している実態があり、WLBの実現に向けた取り組みによって業績アップを達成している中小企業もあります。

すでに始まっている時代の変化に対応するためにも「いつかやろう」ではなく、「今すぐに」「できることから」取り組むことが大切です。

大企業・中小企業それぞれの強みを生かしたWLBの実現を考えていきましょう。



(注)「全体としては御社では、仕事と育児を両立しやすい環境ですか」という設問に対して「しやすい」、「ややしやすい」と回答した人を合計した割合。

資料: 中小企業庁「中小企業における次世代育成支援・両立支援の先進事例集(2007年)」

ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)とは?

ワーク・ライフ・バランスとは、「仕事」と、子育てや介護、地域活動、自己啓発などの「**仕事以外の生活**」との調和がとれ、**一人ひとりが充実した豊かな人生を送れる状態**のこと。



経営戦略として考えると…



ワーク・ライフ・バランスとは、中・長期的な視点で、従業員一人ひとりが結婚・育児・介護などのライフステージの変化に対応しながら、仕事上の責任を果たしていけるよう、**組織と従業員の働き方を見直し、企業価値向上へつなげていく**こと。

企業

「コスト削減につながるし、優秀な従業員を確保できる! 多様化する顧客ニーズにも対応できて業績もアップ!」

Win-Winの
関係

従業員

「会社のおかげで安心して長く働ける! いきいき仕事ができるからアイデアが出るし、モチベーションも上がって業務がスムーズに!」



誤った理解

ワーク・ライフ・バランスは…

- 単に労働時間を減らし、休みを増やせばいい(福利厚生の一環)。
- 育児や介護をしている人達だけにメリットがある(女性だけの問題)。
- コストを費やし、業績や利益に結びつかない。etc…

なぜ、今ワーク・ライフ・バランス(WLB)が必要なのか？

少子・高齢化による生産年齢人口の減少

各企業は、人口減少に備えた人材不足に対応しなければなりません。人材の獲得競争はすでに始まっています。WLBは優秀な人材を確保するために必要不可欠な要素となりつつあります。

ライフスタイルの多様化

女性の労働意欲の高まりなどから、共働き世帯は今まで以上に増加する見込みとなっています。そのため、育児や介護によって時間的制約を受ける従業員は女性・男性に限らず増えているのが現状です。多様化するライフスタイルの中で、優秀な人材の流出を防ぐためにも、安心して誰もが働き続けられる職場環境を整える必要があります。

消費者ニーズの多様化

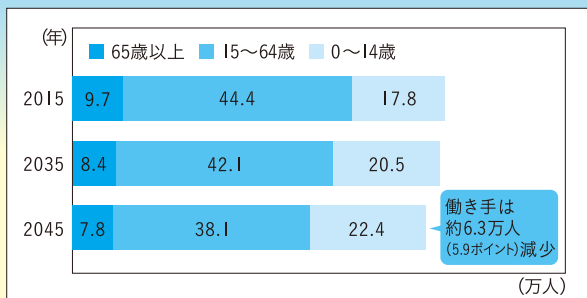
グローバル化やライフスタイルの多様化に伴い、商品やサービス形態の多様化が進む中で、企業間競争に打ち勝つには、新たな価値や違いを生み出す創造性(アイデア)が重要となります。WLBは仕事以外の生活で得られる人脈・経験・情報といったものを得るためにも必要不可欠な要素と考えられています。

その他企業経営に対する大きなメリット ▶▶▶ 次のページへ

女性活躍や業務効率化による生産性の向上など、WLBの実現によって多くのメリットが生まれます。

岡山市を取り巻く現状

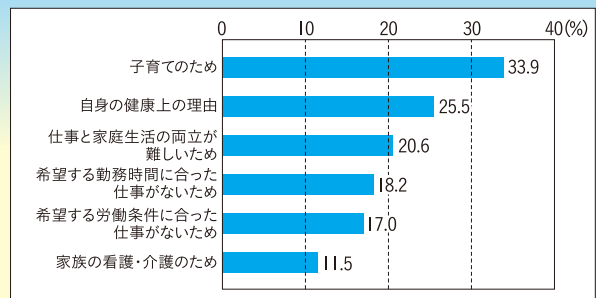
① 岡山市の年齢別人口の推移



働き手である生産年齢人口(15~64歳)は、2015年の約44万4千人(61.7%)から2045年には約38万1千人(55.8%)まで減少。

資料:2015年は総務省「国勢調査」、2035~2045年は岡山市推計

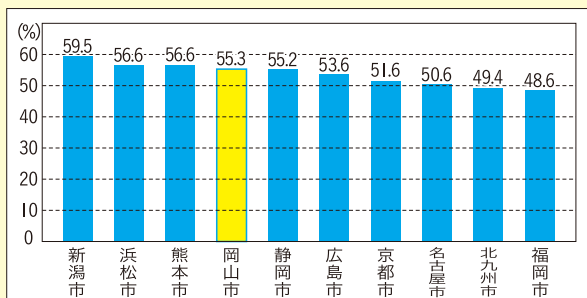
② 就労していない理由



子育てや介護など、仕事との両立が難しいと感じることを理由に就労していない人が多い。

資料:岡山市「女性が輝くまちづくり調査報告書(2014年度)」抜粋

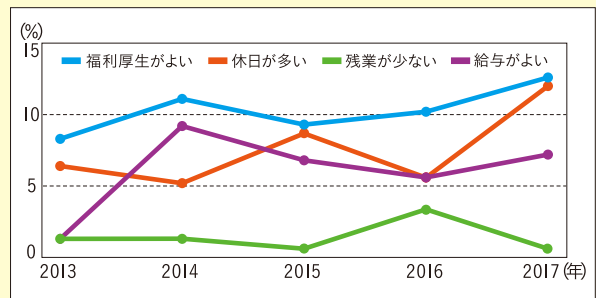
③ 子どものいる世帯の共働き率 政令市上位10都市



子どものいる夫婦の共働き率は55.3%で、政令指定都市中4位。

資料:総務省「2015年国勢調査」

④ 学生に聞く「就職先決定理由」



近年数値を上げている項目は「福利厚生の良さ」と「休日が多いこと」。学生は「働きやすさ」を重視している。

資料:岡山・香川の就職情報サイト「就ナビ」/学生アンケート調査(2017年)抜粋

企業のメリット

ワーク・ライフ・バランス(WLB)の実現に向けて取り組むことで企業が得られるメリットはたくさんあります。また、その取り組みは女性活躍の推進と密接につながっています。

ワーク・ライフ・バランス(WLB)推進のメリット

- 従業員の満足度や仕事への意欲の向上
従業員のニーズに応えられることで満足度や意欲が向上。
- 従業員の創造性、時間管理能力の向上
育児や介護など様々な経験により、生活者としての視点を生かしたヒット商品の開発やタイムマネジメント能力の向上。
- コスト削減(残業代など)
長時間労働是正による経費縮減。
- 生産性の向上
業務効率化の取り組みにより生産性アップ。
- 部下や同僚従業員の能力向上
周囲の従業員の理解を促進することで、業務への柔軟な対応が求められ、従業員の能力向上につながる。
- 従業員の心身の健康の保持増進
休職者を減らすことで、追加コストの削減に。

- 多様な従業員の定着(離職率の低下)
採用・育成コストの削減に。
- 優秀な人材の確保(採用)
ノウハウをもった人材の流出を防ぐ。
- 企業イメージや評価の向上
メディアの報道等による企業のPR効果。

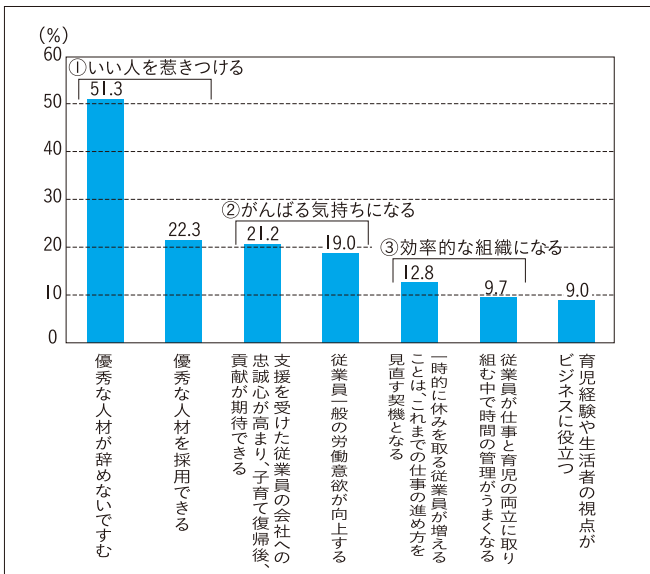
相乗効果

女性活躍推進のメリット

- 女性従業員のモチベーション向上
- 異なる視点による仕事の効率化・業務改善
- 商品・サービス開発
- 販路拡大

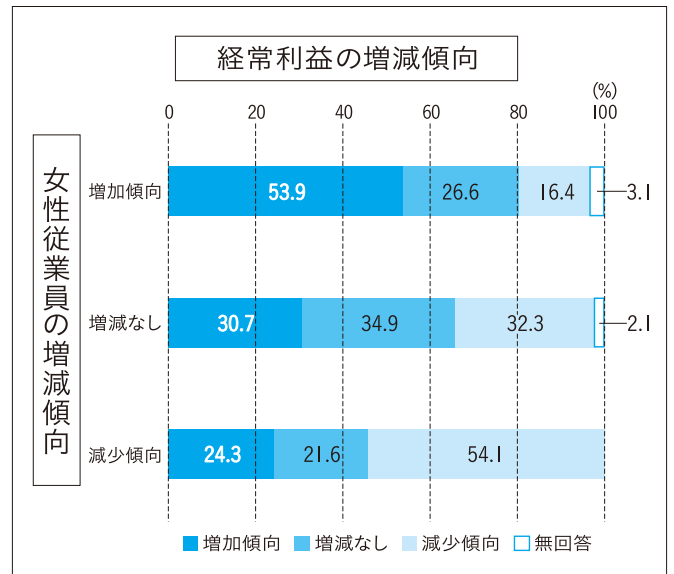
参考:企業が仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に取り組むメリット(内閣府)

仕事と育児の両立を支援する取り組みが企業業績に与えるプラス面



資料:中小企業庁「中小企業における次世代育成支援・両立支援の先進事例集(2007年)」

女性従業員と利益率



女性従業員の割合が「増加傾向」にあるとする企業では経常利益に増加傾向が見られる一方、女性従業員の割合が「減少傾向」にある企業では、経常利益に減少傾向が見られる。

資料:岡山市「女性が輝くまちづくり調査 報告書(2014年度)」

こんなことから始めよう！

岡山市や岡山県では、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進に向けた企業向けのセミナーやプログラムなどを開催しています。こういった機会を活用しながら、自社で具体的にどのようなことから取り組んでいくか、考えてみませんか？

主催	事業	お問い合わせ先
岡山市	企業向け女性活躍シンポジウム 女性活躍推進や働き方改革に必要な視点、経営戦略などについて専門家や識者が解説・紹介し、企業における取組を支援します。	女性が輝くまちづくり推進課 ☎086-803-1115
岡山市	市内企業で働く女性活躍プログラム 管理的立場で活躍することに対する女性社員の意欲が高まるよう後押しするとともに、管理職に必要なスキル取得を支援します。	女性が輝くまちづくり推進課 ☎086-803-1115
岡山市	男性管理職セミナー 企業におけるワーク・ライフ・バランスや女性活躍の意義や効果を紹介し、経営者や管理職層のイクボス意識等が高まるよう後押しします。	女性が輝くまちづくり推進課 ☎086-803-1115
岡山県	女性活躍・WLB応援アドバイザー事業 アドバイザーを派遣し、企業の実情に応じた女性活躍やワーク・ライフ・バランスの取組の推進を支援します。	男女共同参画青少年課 ☎086-226-0553
岡山県	おかやま☆輝く女性☆未来設計応援事業 ロールモデルの紹介や女性同士の意見交換会などを通して、女性自身の活躍する意欲を後押しします。	男女共同参画青少年課 ☎086-226-0553
岡山県	輝く女性トータルアシスト事業 セミナーや研修を行い、働きたい女性・キャリアアップを目指す女性を支援します。	男女共同参画青少年課 ☎086-226-0553
岡山県	岡山県イクボス推進事業 企業への個別訪問・セミナー等を実施し、イクボスの取組を推進するよう勧めるとともに、実際にイクボス宣言を行う上司の掘り起こしを行います。	子ども未来課 ☎086-226-7347
岡山県	働き方改革推進事業 フォーラムの開催等により企業の意識醸成や好事例の横展開を図るとともに、企業のニーズに即した専門家を派遣し、企業内の推進体制の構築等を支援します。	労働雇用政策課 ☎086-226-7386

積極的に取り組む企業を表彰・認定・登録しています！

ワーク・ライフ・バランスの推進や子育て応援などに積極的に取り組む企業を、岡山市や国・県では表彰・認定・登録という形でその取り組みを広く広報しながら、企業PRの一助となるサポートをしています。あなたの会社でも取得を目指して、是非とも取り組んでみましょう！

表彰・認定・登録

岡山市

- 男女共同参画社会の形成の促進に関する事業者表彰
〔お問い合わせ先〕 女性が輝くまちづくり推進課 ☎086-803-1115
- 女性が輝く男女共同参画推進事業所認証
〔お問い合わせ先〕 女性が輝くまちづくり推進課 ☎086-803-1115
ホワイトプラス
- White⁺企業表彰(健康経営・ワークライフバランス推進事業者表彰)
〔お問い合わせ先〕 産業政策課 ☎086-803-1342

国

- 女性活躍の認定マーク「えるぼし」認定(厚生労働省)
- 子育てサポート企業「くるみん」認定・「ブラチナくるみん」認定(厚生労働省)

岡山県

- 岡山県男女共同参画社会づくり表彰(男女共同参画青少年課)
- おかやま子育て応援宣言企業(子ども未来課)